

算数科学習指導案

授業日 令和5年11月29日(水)

学習者 5年1組 38名

授業者 板矢 健志

1. 単元名 「単位量あたりの大きさ」

2. 単元の目標

異種の2種の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量あたりの大きさを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、単位量あたりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。

3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量あたりの大きさを求めたり比べたりすることができる。	異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考えを表現している。	速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用したりしようとしている。

4. 単元計画と学習評価(全10時間)

時	学習内容	学習評価(知・思・主)〈方法〉
1 (本時)	・混み具合の比べ方を考える。	・混み具合の比べ方を、面積と個数の関係に着目して図や式を用いて考え、説明している。(思)〈発言・交流〉
2	・混み具合を比べる方法の中からわかりやすい方法を確認し、様々な状況の混み具合を求める。	・単位量あたりの大きさを用いて比べることの意味を理解し、混み具合を比べることができる。(知)〈発言・ノート〉 ・面積、個数が異なる場合の混み具合の比べ方を考えようとしている。(主)〈観察・発言・ノート〉
3	・「人口密度」の意味を理解し、人口密度の求め方を考える。	・「人口密度」の意味を理解し、人口密度を求めることができる。(知)〈発言・ノート〉 ・人口の混み具合の比べ方を、面積と人数の関係に着目して考え、説明している。(思)〈発言・ノート〉
4	・単位量あたりの大きさを用いて、問題の解き方を考える。	・単位量あたりの大きさを用いて、2つの資料を比べることができる。(知)〈発言・ノート〉
5	・単位量あたりの大きさを使った速さの比べ方を考える。	・単位量あたりの大きさの考えを基に、速さの比べ方を図や式を用いて考え、説明している。(思)〈発言・交流〉
6	・速さの求め方を式にまとめる。 ・「時速」「分速」「秒速」の意味を理解し、速さを求める。	・速さの表し方を基に、速さの公式をつくり、速さを求めることができる。(知)〈発言・ノート〉 ・速さを求めるときに使う2量に着目し、速さを求める公式を表すことを考え、説明している。(思)〈発言・交流〉
7	・速さと時間から、道のりを求める方法を考える。	・公式を用いて、道のりや時間を求めることができる。(知)〈発言・ノート〉
8	・速さと道のりから、時間を求める方法を考える。	・公式を基にして、道のりや時間の求め方を図や式を用いて考え、説明している。(思)〈発言・交流〉
9	・単位量あたりの大きさの学習を自身のまわりで活用する方法を考える。	・学習内容を生活に生かそうとしている。(主)〈発言・観察〉
10	・学習の定着を確認する。	・基本的な問題を解決することができる。(知)〈ノート〉 ・数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。(思)〈ノート〉 ・単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。(主)〈観察〉

5. 本時でめざす子どもの姿

○混み具合の比べ方を、面積と個数の関係に着目して図や式を用いて考え、説明している。

【思】〈発言・交流〉

6. 仮説との関連

① 「やってみよう」と思える課題設定の工夫（仮説1）

- ・身の回りのことを問題にすることで、児童が問題を自分事として捉え、考えることができるようにする。
- ・問題の答えを予想することで、学習意欲を喚起する。

② 学びの場の保障（仮説2）

- ・学習の活動形態（個人、ペア、グループ）を児童が選択できるようにすることで、主体的に活動し自分の考えをもてるようにする。
- ・学習のアイテム（具体物、ノート、タブレットなど）を児童が選択できるようにすることで、主体的に活動し自分の考えをもてるようにする。

7. 本時の学習展開（1/10）

	児童の学習活動	評価□ 留意点※									
導入 7分	<p>○既習の問題に取り組む。</p> <p>○問題を確認する。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>⑩ 玉ねぎがよくとれる畑はどっちでしょう。</td> <td>面積 (㎡)</td> <td>玉ねぎの数 (こ)</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>○答えを予想する。</p> <p>○課題を作る。</p> <p>⑪ 面積も個数も違うときどうしたら比べることができるかな。</p>	⑩ 玉ねぎがよくとれる畑はどっちでしょう。	面積 (㎡)	玉ねぎの数 (こ)	A	6	9	B	5	8	<p>※イラストを使うことで視覚的にも問題の内容を確認できるようにする。</p> <p>※答えを予想し、友だちを交流することで確かめたいという意欲を喚起する。</p> <p>①ゴール ←</p> <p>← ②課題設定の工夫</p>
⑩ 玉ねぎがよくとれる畑はどっちでしょう。	面積 (㎡)	玉ねぎの数 (こ)									
A	6	9									
B	5	8									
展開 35分	<p>○比べ方を考える。</p> <p>・具体物、ノート、タブレットなど自分がよいと思う方法を選んで考える。</p> <p>○全体で交流する。</p> <p>・考えを発表する。</p> <p>・比べることができるかを確認する。</p> <p>○問題の答えを確認する。</p>	<p>※活動形態（個人、ペア、グループ）を自分で選んでよいことを確認する。</p> <p>③時間の保障</p> <p>④自己決定</p> <p>⑤アイテム</p> <p>⑦共有</p> <p>⑥安心できる手立て</p> <p>□混み具合の比べ方を、面積と個数の関係に着目して図や式を用いて考え、説明している。【思】〈発言・交流〉</p>									
終末 3分	<p>○学習をまとめる。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>⑫ 1㎡あたりの個数を求める 1こあたりの面積を求める 公倍数を使って面積をそろえる</td> <td>と比べることができる。</td> </tr> </table> <p>○次時への見通しをもつ。</p>	⑫ 1㎡あたりの個数を求める 1こあたりの面積を求める 公倍数を使って面積をそろえる	と比べることができる。								
⑫ 1㎡あたりの個数を求める 1こあたりの面積を求める 公倍数を使って面積をそろえる	と比べることができる。										